



「水海小未来プロジェクト」では週2日、下校時の立哨・見守り活動を地域のみなさんと始めました。活動は危険箇所を中心に行い、子どもたちが安全に帰宅できるように学校と連携しています。私も参加することがありますが、子どもたちと言葉を交わす機会が増えてお互いの距離も自然と縮まった気がします。

また協議会に参加することで地域の事情もより知ることができ、自分の意識も変化しました。学校の外に出た子どもたちを近くで守れるのは地域だと思えます。学校だけに任せるのではなく地域全体での支援が必要で。

昔は周りにたくさんいた「おせっかいなおじさんやおばさん」のように、良い意味でのおせっかいをみんなですることが、最大の地域おこしにつながると思っています。活動を通して、活動への参加は、無理のない範囲で構いません。この特集を通じて「参加してみようかな」と思う人が1人でも増えるとうれしいです。

古河第四小学校



古河四小 学校運営協議会 菊田会長

私たちの学区ではさまざまな団体と連携を取りながら、毎日登下校時の見守りを行っています。活動は危険

安心・安全の地域づくり



水海小未来プロジェクトの皆さん



市内重点校

今年度コミュニティ・スクール
域学校協働本部を設置しました。
その取り組みや課題、会長の思
いなどについて伺いました。

【問】 ⑤教育総務課、生涯学習課

の取り組み

の導入に伴い、市内に3つの地
域学校協働本部を設置しました。
その取り組みや課題、会長の思
いなどについて伺いました。

Tel.22-5111

水海小学校



水海小未来プロジェクト 船橋会長

「水海小未来プロジェクト」では週2日、下校時の立哨・見守り活動を地域のみなさんと始めました。活動は危険箇所を中心に行い、子どもたちが安全に帰宅できるように学校と連携しています。私も参加することがありますが、子どもたちと言葉を交わす機会が増えてお互いの距離も自然と縮まった気がします。



大和田小学校



大和田イーグルキッズ応援団 齋藤会長

「大和田イーグルキッズ応援団」では登下校時の見守りや学習支援の活動をしています。元々は複数の団体がそれぞれで見守りをしたり、個人が校庭の草取りをしたりしていま

地域のつながりを広げたい

活動のお礼に子どもたちからメッ
セージカードと手袋をプレゼント



したが、コミュニティ・スクールをきっかけに連携をとるようになりました。活動の進め方など、これから決めていく部分もありますが、以前よりもまとまりのある活動になっています。

実際に活動していて感じるのは、地域の子どもたちが素直だということ。私たちを見かけると元気がいいさつしてくれるので気持ちが明るくなります。学習支援ではこま回しや竹馬など、日本の伝統的な遊びと一緒にしたり、ミシンの使い方を教えたりしました。みんな楽しそうに参加してくれましたし、私たちも自分の経験を生かした活動ができ、とてもやりがいを感じました。

今後も学校を中心に活動を続け、地域のつながりを拡大・活性化していきたいと考えています。

箇所での立哨や、青色防犯パトロールカーの拡声器で注意呼びかけからの見回りです。またコミュニティ・スクールをきっかけに組織した「クローバー守り隊」は、子どもたちに親しみを持ってもらうために、学校を通してお披露目の場も設けていただきました。ただ立哨などをしていただけでなく、見守っている存在だと知ってもらい、安心して通学してくれとうれしいです。

今はまだ一部の人で活動していますが、将来的には地域全体で取り組んでいければと思っています。特に見守りは、危険箇所だけでなく皆さんの自宅からでも行えます。通学の時間帯に、庭先から「いつてらっしゃい」「おかえり」と声をかけるだけ。人の目が増えることで、子どもだけでなく地域の安全にもつながります。



古河四小協働活動推進委員会の皆さん



大和田イーグルキッズ応援団の皆さん